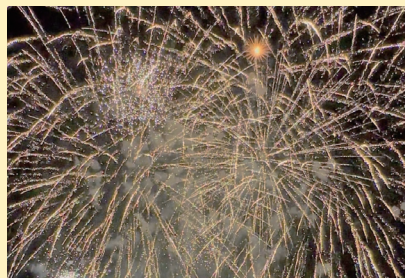




まちフォト

9/13 第65回 みなと祭り 風になびく大漁旗、海水もしたたるいい笑顔



9月13日(土)、14日(日)、みなと祭りが長洲漁港周辺で盛大に開催されました。初日は約3,000発の花火と2尺玉の大花火が夜空を彩り、会場は歓声に包まれました。翌日は、海上綱引きやカラオケ大会、デコトラアートトラックも集結し、多彩なイベントでにぎわいました。海上綱引きに参加した駅館小学校保護者の島田さんは「子どもたちのためにも頑張って優勝します」と意気込み、海上に向かいました。いかだの上で選手たちがバランスを崩したり、引っ張られて海に落ちたりするたびに、会場は大声援と笑い声で盛り上がりしました。



8/23 第54回 安心院盆地祭り 活気あふれる安心院の祭り

安心院文化会館前駐車場で、安心院盆地祭りが開催されました。多くの出店やステージでのダンス、和太鼓、卑弥呼踊りのほか、動物とのふれあいコーナー、ビンゴゲームなどの催しがあり、会場は多くの来場者でにぎわいました。恒例の盆踊りでは、やぐらを中心に大きな踊りの輪ができた後、約700発の花火でフィナーレを迎えました。来場者は「安心院の活気を感じられてうれしい」と話していました。

8/22 第2回 院内両川地区わくわくアート教室 真っ黒なキャンバスから白い大根

両川公民館で、染工房芳心庵の芳賀信幸さんを講師に招き、わくわくアート教室が開催されました。毎回違う画材やテーマで年6回開催される教室の、今回のテーマは大根、最初に「アートボードを墨で黒く塗りつぶす」という講師の指示を聞き、参加者は普段とは違う手順にびっくりしながら作業を始めました。色鉛筆で好きな色を塗り進めると思い思いの大根アートが完成し、楽しい時間を共有していました。





9/13 宇佐神宮御鎮座 1300 年奉祝 第 18 回宇佐神楽共演大会 伝統の神楽舞をご覧あれ！

夏の暑さが少しずつ和らぐ中、宇佐神宮能楽殿で宇佐神楽共演大会が開催されました。県北の 6 神楽社が共演し、古くから地域の人々の無病息災や五穀豊穡を願って捧げられてきた伝統の舞を披露しました。毎年 600 人を超える神楽ファンを楽しませる催しで、フランスから観光で訪れたポリヌさんは「初めて神楽を観ましたが、とてもエキサイティングで美しく、感動しました」と話しました。

8/24 私たちが創る平和な未来 戦後 80 年の重みを感じて

宇佐文化会館で、平和を考えるイベントが開催されました。劇団USAキッズ・ジュニアによる演劇「ぬれたランドセル」や朗読サークルみどりの会による「かわいそうなゾウ」の朗読、宇佐市少年少女合唱団や混成合唱団 檜の木による合唱などを通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを感じる時間となりました。劇に参加した中学 2 年生の重松和寿さんは「今までよりも、重い話で緊張しました」と話しました。



9/5 東大寺転害門大注連縄用藁奉納事業 大しめ縄でつながる文化交流

東大寺転害門大注連縄用藁奉納事業が行われ、6 月の田植えから背丈 1.5 m ほどに育った稲を津房小学校 4～6 年生の 12 人が、鎌で丁寧に刈り取りました。4 年生の遠嶋華さんは「鎌を使った稲刈りは初めてで、少し難しかった。でも、奈良に行くのが楽しみ」と話しました。稲は乾燥後、奈良県の手向山八幡宮に送られ、同校の児童も交流を兼ねて、9 月 23 日(火)に奈良を訪れ、しめ縄作りに参加しました。



9/28 宇佐四日市人形 親子で絵付け体験 伝統文化を親子で楽しむ

県立歴史博物館で四日市人形の親子絵付け体験が行われました。四日市人形は、約 150 年前から縁起物として作られている伝統ある人形です。博物館の学芸員から人形や宇佐神宮の歴史について説明を受けた後、欄宜や巫女などの宇佐神宮御鎮座 1300 年記念人形に、思い思いの色付けを楽しんでいました。参加した江島隆太さんは「初めてだったけど楽しかった。またやってみたい」と話していました。